

京都市内の空き家に悩む住民たちが実体験をもとに自らまとめた、空き家対策がわかる本『空き家の手帖』が9/17、全国の書店に並びます。



京都市東山区の六原学区の住民と、不動産、建築、まちづくりの専門家や行政とが協力しながら地域自立、自走型のまちづくりを進める組織、六原まちづくり委員会は、編集プロダクションぼむ企画とともに、『空き家の手帖 放っておかないための考え方・使い方』（学芸出版社）を著しました。2016年9月、刊行の運びとなりましたのでご案内いたします。

【著者】

六原まちづくり委員会

京都市東山区の六原学区（人口約3,300人）の自治組織「六原自治連合会」の下部組織として2011年に発足した地域自走型まちづくり組織。空き家対策と防災まちづくりを軸にまちの課題解決に取り組む。2015年、「京都市東山区六原学区における住民主導の空き家対策と防災まちづくり」で日本まちづくり大賞を受賞。
<http://rokuhara.org>

ぼむ企画

平塚桂、たかぎみ江による編集プロダクション。京都と鎌倉を拠点とする。建築・不動産・まちづくりといった分野を中心に、編集、出版、イベント企画、執筆、イラスト等を手がける。<http://pomu.tv>

～本書の2つの特徴～



1. 空き家の素朴な疑問に答える24のQ&A

右側のQは空き家を抱える家族の会話、空き家所有者の素朴な疑問を伝え、左側のAで大学の先生「マチコ先生」や建築家の「ケンさん」ら専門家が回答します。

2. 空き家活用の事例6件でノウハウを紹介

京都市内の6つの空き家活用事例（うち5つは六原学区内）を掲載。片付けから資金計画の工夫、改修のやり方、流通の仕方まで、ノウハウを紹介しています。

『空き家の手帖 放っておかないための考え方・使い方』

六原まちづくり委員会+ぽむ企画・著 学芸出版社・刊 A5判、92ページ、1,000円+税

2016年10月1日 初版第1刷発行（9月17日頃に書店に並びます）

「あなたの家、空き家にしてはいませんか？」

『空き家の手帖』は地元の空き家に悩む住民たちが自ら実体験をもとにイラストと会話形式でまとめた、空き家対策の指南書。空き家とは何か？に始まり、片付けの心得、活用のノウハウ、相続や耐震改修への素朴な疑問、お金の心配にも答える。持ち主、近隣住民、自治体関係者……空き家の悩むすべての人へ贈る一冊。

※下記ウェブページで「目次」「はじめに」「おわりに」が読みます。

<http://www.gakugei-pub.jp/mokuroku/book/ISBN978-4-7615-1365-8.htm>

2014年3月に地域に向けて制作した私家版冊子を改訂し、章や事例を増やして2016年9月に全国に向けて刊行。空き家に悩めるすべての人が、空き家の考え方、使い方をイメージでき、活用の一歩を踏み出せる。そんな本が人口約3,300人の六原学区のまちづくり組織から生まれました！

【配信元 六原まちづくり委員会】

・代表者名：委員長 菅谷 幸弘（すがたに ゆきひろ）

・所在地：京都市東山区五条大和大路東入5丁目梅林町576-5

六原まちづくり委員会のこれまでの取り組みについては、以下パンフレットもご覧ください。

http://www.rokuhara.org/about/akiya_and_bousai.pdf

掲載・取材に関するお問い合わせ先

六原まちづくり委員会 委員／寺川徹建築研究所 代表 寺川徹 (TEL 080-4024-1284 E-mail toru@ttaarch.com)